

ハニレボール

No. 7

Japan Handball Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会
<input type="checkbox"/>	地区大会

<input type="checkbox"/>	成年男子
<input type="checkbox"/>	成年女子
<input type="checkbox"/>	少年男子
<input type="checkbox"/>	少年女子

試合番号	ア
------	---

年月日	2018 年 9 月 13 日 (木)
大会名	第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体2018

公 式 記 録 用 紙

A				三重県								福岡県								B	
都道府県		市町村		会場		回戦		福井県		永平寺町		北陸電力福井体育館プレイAコート						1回戦			
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mTC	A	B							
	18	6		28	15																
7mT得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7mT得点/総数										
	3/3	1	2	後	3	1	2	3	0/0												
			26:43	19:27		10:37															

No.	三重県	G	W	2'	2"	D	DR	No.	福岡県	G	W	2'	2"	D	DR
1	岩見 佳音							1	下地 真央						
2	中田 夏海	3						2	谷藤 和	2					
3	原 希美	5						3	翁長 鈴						
4	林 美里	5						4	稲永 依里子	1	1				
5	多田 仁美	3						5	岡野 まどか	4					
6	加藤 夕貴							6	今村 晃子	4					
7	万谷 由衣	2						7	嶋田 波瑠菜	2	1				
8	森本 方乃香	1	1					8	新里 陽月						
9	近藤 保乃佳	2						9	福永 実央	1		1			
10	河嶋 英里	4						10	平安山 笑奈	1					
11	園 玲伊奈	3						11	宮本 穂菜美						
12	花村 葵香							12	森藤 はるか						
役員A	櫛田 亮介							役員A	中原 麻衣子						
役員B	梶原 晃							役員B	田中 守						
役員C	佐久間 雅久							役員C	吉兼 練						
役員D	佐野 陽子							役員D	松永 真季						

A	チーム役員A署名	B
特記事項		

レフェリー	関 博隆	寺田 良太		
T.D.	古矢 勲	酒谷 信彦		
JHAオフィシャル				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール No. 8

第73回国民体育大会、平成30年度「福井しあわせ元気」国体

試合結果・戦評報告書

競技日	H30. 9 / (13日(木))・14(金)・15(土)・16(日)・17(月)			試合番号	C-ア
会場 コート	A	福井県営体育館	種別	(成年)	少年
	B	福井市体育館	性別	男子	(女子)
	(C)	北陸電力福井体育館フレアAコート	回戦	(一回戦)	二回戦
	D	北陸電力福井体育館フレアBコート		準々決勝	準決勝
	E	永平寺緑の村ふれあいセンター		3位決定戦	決勝
Aチーム名			Bチーム名		
三重県			福岡県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
28	18	前半	6	15	
	10	後半	9		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

大会1日目。成年女子の1回戦。三重県と福岡県の対戦は、三重県(3番原)の7mTで始まった。すぐに福岡県6番今村のミドルシュートにより取り返したものの、三重県3番原、7番万谷、4番林、3番原、5番多田の連続得点により5点差をつけられ、たまたま、福岡県がタイムアウトを要求した。しかし、流れは変わらず三重県2番中田の速攻、11番團、10番河嶋のサイドシュートなどでさらに差が開き、また、12番花村の再三に渡る好セーブも光り、福岡県も5番岡野などが得点するも三重県が18対6の大差リードで前半を終えた。

後半に入って福岡県の2番谷藤が速攻で先取し、すぐに三重県4番林の7mTで取り返すなど、8分まではシーソーゲームが続いていたが、三重県4番林、5番多田、10番河嶋の三連続得点により流れが三重県に傾きはじめるかに見えたが、6番今村、5番岡野の連続得点で粘りを見せ一進一退が続き、その後は両チーム得点を重ねることができず、硬直した試合展開となった。それに耐え切れなかった三重県が19分過ぎにタイムアウトを要求し建て直しを図るものの、6番今村、5番岡野の得点、1番下地の好セーブもあって福岡県も粘りを見せた。しかし、前半に差をつけた三重県が最終スコア28対15で1回戦進出を決めた。

記載者氏名	山口 功治
送信日時	月 日 ( )
送信者署名	